

仏像といえば、奈良や京都のイメージが強いかもしれませんが、実は九州にもたくさん古く古い仏像があることをご存じですか？これらの仏像は、日本の仏像史の中でも独自の魅力を持っています。その大きな特徴のひとつは、「都からの影響」や「大陸からの影響」に加え、「地域の伝統」が入り混じっているところなのです。

たとえば、平安時代初期の檀像だんぞうや観世音寺の丈六像には、都の文化の影響が強く見られます。また、薩

九州仏像探訪

心響く祈りの姿を巡る旅

摩塔の仏像には中国大陸からの影響が反映されています。観世音寺の木造十一面観音立像には地元の影響が感じられる独特の風格があります。

福岡平野をはじめとする九州北部は、古くから大陸との交流が盛んだったため、仏教や仏像が他の地域よりも早く伝わった可能性があります。その歴史を解明するため、今も研究が続けられており、新たな発見も期待されています。



観世音寺 尊像群

かんぜおんじ

そんざうぐん

西日本の仏教美術の粋と称される、5メートルを超える巨像の仏像群が楽しめるスポットです。寺社の講堂内に並ぶ巨像の姿は壮観で、多くの人々を魅了してきました。しかし、度重なる火災や台風の影響を受け、昭和の建築家である伊藤要太郎氏によって正倉院風の宝蔵が建設され、1959年には仏像の大部分が宝蔵に収蔵されました。平安時代から鎌倉時代にかけて造られた仏像のほか、石造の狛犬や舞楽面も安置されています。また、紫式部が著した『源氏物語』にも登場するなど、歴史に彩られた場所であり、現在も多くの見学者で賑わっています。



1) 日本最古の梵鐘が現存することでも知られる観世音寺



2) 仏像の多くが収蔵された宝蔵

観世音寺

福岡県太宰府市観世音寺5丁目6-1
年中無休
* 宝蔵開館時間：9～17時
(入館は16時30分まで)



熊本県八代市

みょうごいん

びしゃもんてんりゅうざう

明言院 毘沙門天立像

明言院は江戸時代に再興された寺院で、この場所は、奈良から平安時代にかけての古代寺院跡（興善寺摩寺跡）とされています。境内にある収蔵庫には、平安時代後期に作られた木造の「毘沙門天立像」が安置されており、熊本県内で最も古い仏像の一つとして国の重要文化財に指定されています。この毘沙門天像は、力強さと威厳を放つ彫刻で、美術的にも高く評価されています。開帳は春と秋の彼岸中日に行われ、地域の重要な文化財として多くの人々に親しまれています。



明言院 ●
熊本県八代市興善寺町1819



国指定重要文化財



国指定重要文化財

木造不空羅索観音立像

ふくろげんさくかんのりゅうざう



国指定重要文化財

木造馬頭観音立像

ばとうかんのりゅうざう



国指定重要文化財

木造十一面観音立像

じゅういちめんかんのりゅうざう

鹿児島県南九州市

みずもとじんじゃ

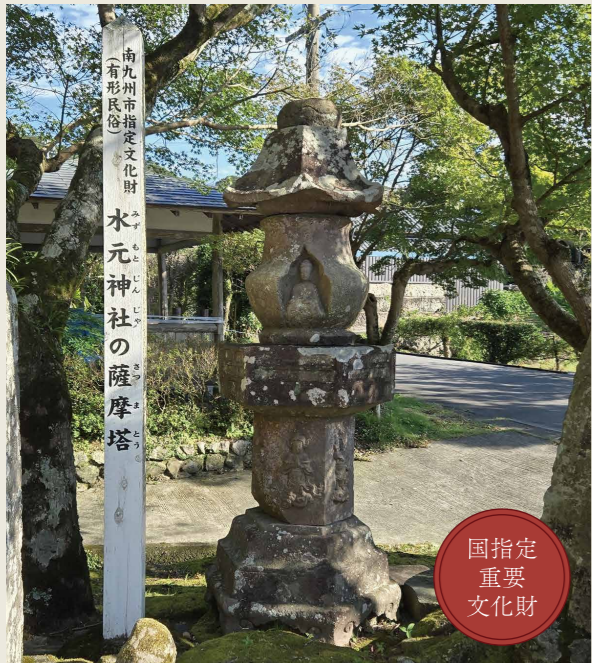
さつまつとう

水元神社 薩摩塔

水元神社は名水百選「清水の湧水」の水源地にあり、水女神を祭神として信仰されています。創建年代は不明ですが、江戸時代の1715（正徳5）年に社殿改築の記録があります。以前は2体の仏像も祀られていたようですが、明治初めの廃仏毀釈で廃棄されました。境内には市指定文化財「水元神社の薩摩塔」があります。昭和30年代に薩摩半島で複数確認され薩摩塔と名付けられました。現在は九州北部でも多く確認されています。六角形の台座の四面に四天王、壺型の塔身に如来が彫られており、中国の神仙思想が反映されたデザインとされ、石材は中国の新江省産の「梅園石」とされています。



水元神社 ●
鹿児島県
南九州市川辺町清水1343



国指定重要文化財

※ 廃仏毀釈(はいぶつきしゃく)とは

明治初めに神仏分離令が出された際、薩摩藩では藩主の菩提寺を含むすべての寺院が廃寺となり、僧侶は還俗し仏像や經典等は焼却されました。